



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年12月1日(土)
第2611回 例会
(本年度第20回)

例会場 東京第一ホテル 鶴岡 例会日 毎週火曜日
(鶴岡市錦町 2-10) (12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(12/4)のメインプログラム

年次総会

次週(12/11)のメインプログラム

ゲストスピーチ
山添高校 斎藤 章 君

国際ロータリー第2800地区第2ブロック IM(インターシティミーティング) & 6クラブ合同例会開催

12月1日(土)グランドエル・サンを会場に第2ブロックIM&6クラブ合同例会が開催されました。IMリーダーは当クラブの塚原初男バスター、ホストクラブは鶴岡東ロータリークラブでした。

和田ガバナーの挨拶の中で、RIの最新情報がありました。気になるところでは、ロータリークラブの例会を週1回から月2回にするという案が出ていること、出席率についてこれまでの原則を緩める案が示されたこと、e-クラブの拡大などです。日本のガバナーたちはこの案は歓迎していないようです。また、田中RI会長の「作治作戦」というのがあって、3年間で世界のロータリー会員を3%増やす(日本は1万人増)としています。国際大会には日本から3,000人の参加を要請、2800地区では30名の参加者を募集しています。

このセミナーのメインプログラムである各クラブからの国際奉仕、社会奉仕に関する活動報告、池田地区財団委員長による新地区補助金の解説、竹見智恵子氏による講演を以下に要約します。



○奉仕活動実態報告

富田クラブ奉仕プロジェクト委員会理事(鶴岡ロータリークラブ)

今年度、第2ブロック6クラブ合同事業としてアメリカ、オレゴン州と青少年交換プログラムを実施していたが、派遣学生、来日学生ともに派遣先になじめず相次いで帰国した。このようなケースは初めてであり十分な調査検証が必要と思う。山形県と関係の深いジャンジブさんが校長・理事長を務める新モンゴル高校の図書充実を図るために3年間寄附を続けてきた。米山奨学生金さんのホストクラブに当たり、米山奨学会への寄付にも力を入れ一人2万円の目標で頑張っている。

東山米山奨学会委員長(鶴岡西ロータリークラブ)

昨年中国からの米山奨学生を受入れカウンセラーとして関わった体験からの報告。尖閣問題が起こり厳しい面もあったが、顔と声でつながる国際交流は、こういう難しい国際対立が起きた時にも過剰反応しないで冷静でいられると思う。米山奨学生と一年を過ごし様々な経験をさせてもらった。地区内でカウンセラー同士の意見交換の場があってもいいのではないかと、また帰国すると交流が減っていくのは残念なことなので、一生消えないシステム作りも必要と感じた。

阿部クラブ奉仕委員長(余目ロータリークラブ)

庄内町とかかわりの深い宮城県南三陸町の仮設住宅におられる方に表札を寄贈した。製作機械、桧山杉を提供し、南三陸町でワークショップを開催、製作は地元でできるようにした。これまで104の表札を作成し仮設住宅で頑張っておられる家族に届けた。

佐々木クラブ奉仕プロジェクト委員長(立川ロータリークラブ)

会員減少で現在会員数は17名。平均年齢は71歳である。クラブの体力が落ちているが、何とか頑張っていきたい。米山奨学生や青少年交換学生を受け入れてき

出席報告	会員数	41名
	出席	19名
	出席率	48.72%
	前々回確定出席率	79.49%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

た。今年の5月、オランダGSEチームが参加して記念植樹を行った。3年前には、鶴岡クラブの高橋良士先生のご指導を頂いて財団奨学生を米国に派遣した。

佐藤社会奉仕委員長(鶴岡南ロータリークラブ)

障がい者の運動不足解消と交流の機会を提供するためフロアホッケー大会を支援している。5年前の15周年記念事業としてホッケー用具一式を愛光園に送った。12月9日小真木原運動公園で第4回大会が開催され、設営や運営をサポートする。この種目はスペシャルオリンピックの競技にもなっていてアスリートとパートナーと一緒にプレーするので見に来て、できればパートナーとして協力してほしい。

阿部ロータリー財団委員長(鶴岡東ロータリークラブ)

鶴岡西部公園、東公園に植樹をした。9月6日～10日まで6人の会員でフィリピン・レイテ島を訪問し「水牛家族」の実態を視察してきた。

○新地区補助金について

池田地区ロータリー財団委員長

2013年度からR財団の補助金制度が変わります。皆さん難しいとおっしゃいますが、難しくありません。新地区補助金を使って奉仕活動をしたいとお考えのクラブは私のところに相談してください。適切に対処いたします。それだけです。簡単でしょう！

知っておいていただきたいのは補助金には2種類あって予算規模は小さいけれども国内、海外にも使える「新地区補助金」と予算規模の大きい海外でしか使えない「グローバル補助金」があるということです。申し込みがあるので計画のあるクラブは早めに地区に申込書を出してください。新地区補助金は3月頃まで、グローバル補助金は1月末までです。お忘れの無いようにお願いいたします。

講演:「レイテ島水牛家族25年の歩み」

水牛家族代表 竹見智恵子氏



創立25周年に合わせて、今年は9月7日から12日にかけてスタディーツアー実施した。その時鶴岡東ロータリークラブの佐藤祐三会長以下6人のメンバーが参加し、水牛1頭を寄贈してくれた。参加者は水牛を贈ったバロ町テラサを訪問した。農民組合のネグロス代表は、

「24年前に4頭もらった水牛が10頭に増えた。ほかの村にプレゼントしているよ」と笑顔で語った。

「水牛家族」が結成されたのは踊牧師が1987年にレイテ島を訪問したのがきっかけになった。戦争で大きな被害を受けた島では当時、農地解放が進まず、小作農は農作業に欠かせない水牛を持たずに、苦勞していた。それを見た踊牧師が支援に乗り出した。踊牧師は日本人信者に呼び掛けて集めた募金をもとに、水牛20頭をレイテ州ブラウエン町やバロ町の農民組合に贈った。24年間で30村に、約80頭が贈られている。水牛のようにゆっくりと、でも着実にフィリピンの仲間と知恵を出し合い今後も活動を進めていきたい。



RI2800地区・第2ブロック 6クラブ合同例会&懇親会



※次年度IMの担当は鶴岡南ロータリークラブ。
開催時期は未定。

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクされた方

藤川享胤・橋本 至・嶺岸禮三・迎田健
塚原初男・阿部純次・佐藤孝子君・青柳孝治
小林健郎・西川富美子・富樫松夫